

点検結果一覧表

1. 設備名称

設 備 名	数 量	
取水ゲート	1	門

2. 点検結果総括

装 置 名	点 検 結 果		不良・不具合報告書 番 号
	結 果	記 事 [①～は点検整備の概要を示します]	
扉 体	(○)	○ <u>主ローラ及び扉体表面に発錆が認められます。(全般)</u> ① 外表面を水洗浄 ② 回転部であるワイヤシープ・主ローラ軸受け部に給油 ③ 主ローラ、補助ローラを手動回転することを確認 ④ 水密ゴムの点検 ⑤ 取付ボルトの弛み点検 他	1 2
戸当金物	○	① 異物の除去及び清掃 ② 取付ボルトの弛み点検 他	
開閉装置	○	① 解放歯車の清掃、バックラッシ計測、歯当たり確認、歯面に給油 ② ワイヤロープ清掃、外径値計測、外表面点検、ロープ油を給油 ③ 給油機器、配管・継手類の点検、軸受け部等に給油 ④ 機械台、ドラム等の機器外表面を清掃 ⑤ リミットスイッチ(ロープ弛み、過負荷、非常上限)の作動確認 ⑥ 開度計等開閉装置に設置の電気機器類の点検 他	
機側操作盤	○	① 運転電流値・電圧値・絶縁抵抗値を計測 ② 機器取付端子の弛み点検 ③ 盤内電気機器の劣化・損傷等の異常の有無を点検 他	

点検結果記載記号

- = 点検結果 良好
- × = 点検結果 異常

【報告内容】

1. 主ローラの発錆については、経過観察が必要です。
2. 毎月1回 集中給油装置で、軸受け部等への給油を励行願います【自動運転中の取水ゲートに限定】
 [集中給油装置の給油ハンドルを5～6回動かすことで、軸受け部等への各給油先への給油が完了します]

点検結果一覧表

1. 設備名称

設 備 名	数 量	
制水ゲート	1	門

2. 点検結果総括

装 置 名	点 検 結 果		不良・不具合報告書 番 号
	結 果	記 事 [①～は点検整備の概要を示します]	
扉 体	(○)	○ <u>水密ゴムに亀裂が認められます。(1箇所)</u> ○ ガイドレールの表面の損傷が認められます。 ① 全閉後の上昇時に外表面を水洗浄 ② 回転部であるワイヤーシープ・ガイドローラ軸受け部に給油 ③ ガイドローラを手動で回転することを確認 ④ 水密ゴムの点検 ⑤ 取付ボルトの弛み点検 他	3 4 5
戸当金物	○	① 異物の除去及び清掃 ② 取付ボルトの弛み点検 他	
開閉装置	○	① 解放歯車の清掃、バックラッシ計測、歯当たり確認、歯面に給油 ② ワイヤロープ清掃、外径値計測、外表面点検、ロープ油を給油 ③ 給油機器、配管・継手類の点検、軸受け部等に給油 ④ リミットスイッチ(ロープ弛み、過負荷、非常上限)の作動確認 ⑤ 機械台、ドラム等の機器外表面を清掃 ⑥ 開度計等開閉装置に設置の電気機器類の点検 他	
そ の 他	○	○ <u>機側操作盤の老朽化が認められます。</u> ① 運転電流値・電圧値・絶縁抵抗値を計測 ② 機器取付端子の弛み点検 ③ 盤内電気機器の劣化・損傷等の異常の有無を点検 他	6

点検結果記載記号

- = 点検結果 良好
- × = 点検結果 異常

【報告内容】

1. 水密ゴムの亀裂は経過観察が必要です。
2. 毎月1回 主電動機の電磁ブレーキを作動(ゲート操作)願います

【年1回の作動である制水ゲートの電磁ブレーキ部の錆び付き防止対策、制水ゲートに限定】

[(ゲート)上昇→停止→(ゲート)下降 の動作を2回程実施することで、その度に電磁ブレーキが作動して発錆を防止]

※ ゲートを何センチも上昇・下降する必要は無く、電磁ブレーキが作動する時間(2～3秒)で可能です

3. 機側操作盤内のキーパリレーの影響により、ロープ緩み等のエラーが発生した場合に、盤内で自己保持され操作不能の状態が発生する可能性があります。

点検結果一覧表

1. 設備名称

設 備 名	数 量
緊急水位低下用ゲート	1 門

2. 点検結果総括

装 置 名	点 檢 結 果		不良・不具合報告書 番 号
	結 果	記 事 [①～は点検整備の概要を示します]	
扉 体	—	※ 水面下であり未点検	
戸当金物	—	※ 水面下であり未点検	
開閉装置	○	① スピンドルの清掃、歯面の目視点検、スピンドルへの給脂 ② 開閉装置バルブコントロール内のグリースの内容量及び状態の確認 内部への給脂実施 ③ 機械台、開閉装置の機器外表面を清掃 ④ 開閉装置に設置の電気機器類の点検 他	
機側操作盤	○	① 電圧値・絶縁抵抗値を計測 ② 機器取付端子の弛み点検 ③ 盤内電気機器の劣化・損傷等の異常の有無を点検 他	

点検結果記載記号

○ = 点検結果 良好

× = 点検結果 異常

【報告内容】

点検結果一覧表

1. 設備名称

設 備 名	数 量	
バルブ室内機器類【河川放流管ゲート, 発電用制水バルブ, 水道用バルブ】	1	式

2. 点検結果総括

装 置 名	点 検 結 果		不良・不具合報告書 番 号
	結 果	記 事 [①～は点検整備の概要を示します]	
河川放流管 主ゲート	○	① 開閉装置のスピンドルの清掃、ネジ部の目視点検、ネジ部に給油 ② 運転電流値・電圧値・絶縁抵抗値を計測 ③ 空気弁を点検、弁部がスムーズに動作することを確認しました ④ 機器取付端子の弛み点検 ⑤ 盤内電気機器の作動状況点検 ⑥ 電気機器の劣化・損傷等の異常の有無を点検 ⑦ 機器外表面の清掃、補修塗装	他
河川放流管 副ゲート	○	上記 発電用制水バルブと同様の点検整備を実施	
発電用 制水バルブ	○	上記 発電用制水バルブと同様の点検整備を実施	
水道用 主バルブ	○	上記 発電用制水バルブと同様の点検整備を実施	
水道用 手動副バルブ	○	上記 発電用制水バルブと同様(電気関連を除く)の点検整備を実施	
機側操作盤	○	① 運転電流値(盤電流計+持參電流計)・電圧値・絶縁抵抗値を計測 ② 機器取付端子の弛み点検 ③ 盤内電気機器の劣化・損傷等の異常の有無を点検	他
流 量 計	○	① 表示、機器の点検	他
水 温 計	○	① 設備の水温計と棒温度計で温度を比較	他
取水管	(○)	○ <u>取水管内部に発錆が認められました</u> ○ <u>コンクリート付近の外面に発錆が認められました</u> ① 取水管の内外にて外観点検。内部の高圧洗浄を実施	7 8 他

点検結果記載記号

○ = 点検結果 良好 × = 点検結果 異常

【報告内容】

1. コンクリート付近の取水管（放流管）外面に発錆が認められました。
昨年度から管外面（SS400）の大きな腐食はありませんでしたが、経過観察が必要です。
2. 取水管内部に形成されたスケールが一部戸当たりの付近に存在し、ゲート開閉に影響を及ぼす可能性があります。
固着が著しく高圧洗浄機では除去に限界があり、今後管内の清掃を必要とする為に経過観察が必要です。